

出川真也研究室「教育・研究・実践」取組実績の概要

【教育活動】

地域教育活動論や地域教育政策論といった地域系専門科目ほか、ゼミナールや実習系科目、キャリア育成系科目、そして社会教育系科目など、幅広い教育学諸科目の担当実績がある。授業実施の他、学生の学修や地域実践に役立つ教材や手引き等を開発し、提供してきた。

教育内容と方法は、学生同士や、特に学外授業においては、住民や実践家をも含んだ学習関係者間の双方向の学びを促進させることで、協働して新たな知を生み出し、主体的に参加しながら共に意味世界を構築することを通じて、現代地域社会の課題へアプローチしようと試みている。様々な形態のワークショップやシミュレーションをユニークな方法で取り入れて行っており、地域づくりと一体となった教育を展開している。

これら斬新な手法を取り入れた教育活動は、地域能力開発のための支援者育成といった専門職養成面において寄与するものであり、また学生・学習者が VUCA 時代にあって求められている生涯学び続ける能力を身につけることと有効につながっている。

【研究活動】

「地域創生の教育学」を掲げて、①地域人材育成に関する基礎概念・理論研究（生涯学習論・社会教育学）、②地域人材育成を行うための基本技術・手法・評価・方法論研究（成人教育学）、③地域活動・人材育成組織との協働実践研究（学習地域・学習経済・教育経営論）といった関連諸分野を横断的につなぎながら、業績を重ねている。

近年では、文部科学省・日本学術振興会の科学研究費助成事業の採択を受け、「『地域回帰』志向の形成過程とその教育的要因の典型的・数値的解明に関する研究」（平成 29 年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金 H29-31）研究代表者）、「地域づくり団体の組織文化と教育・学習活動の相互影響関係と事業継承メカニズムの解明」（令和 4 年度科学研究費助成事業（科研番号 22K02212）研究代表者）の研究に取り組んでいる。人や組織における学習という視点から地域づくりに寄与する教育学研究の発達に寄与している。

地方公共団体や民間組織等からの研究委託を年 1~2 事案程度のペースで受託しており、地域の求めに応じながらも独自の視点を提案する方向での継続的な研究活動が認められる。

エンrollment・マネジメント研究所の業務においては「参加型教育アセスメント」という新たなアセスメント（評価）の手法やシステムの研究開発に取り組んでおり、その研究成果は、特に実習教育や社会連携教育活動における活用に直接的に役立つものと考えられる。

【地域実践・社会連携活動等】

地域の NPO 組織、地縁団体、企業・事業者と連携・協働しながら研究・教育成果の社会還元・実装を図る取組に積極的にかかわっている。フィールドは都市部から農山漁村までの多岐にわたっており、豊島区の生涯学習団体や子ども・若者育成団体、離島の地域づくり組

織、山村の青年団組織などと具体的で継続的なつながりを持ちながら、地域に根差した実践活動を展開している。

また、産学官民の様々なセクターから、地域づくりにかかわる人材育成や組織育成、教育・学習の仕組みづくりなどをテーマとした講演や第三者評価、委員等の依頼を継続的に受けしており、研究成果の社会還元に努めている。